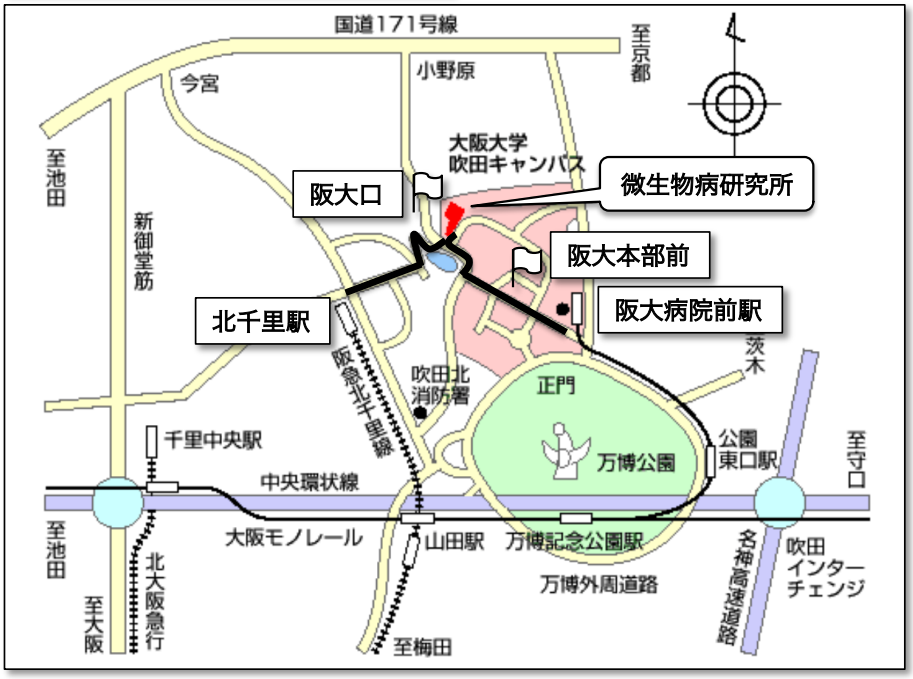
参加者へのご案内

1. 受付は、融合型生命科学研究棟（向かって右手の建物）の 1 階　谷口記念講堂の入口にて行います。受付開始時間は 12:00 です。
2. 参加費・懇親会費は、当日受付にてお納め下さい。
   シンポジウム参加費：一般会員　2,000 円
   非会員　4,000 円
   懇親会費：一般会員・非会員ともに　5,000 円
3. 懇親会は 10 月 20 日（木）シンポジウム終了後、銀杏会館内「レストラン　ミネルバ」にて行います。
4. 発表用 PC の OS は Windows10、ソフトウェアは PowerPoint 2016 です。
5. 一般演題の発表時間は 15 分です。発表 12 分、質疑応答 3 分といたします。
6. 発表開始後 10 分で予鈴 1 回、12 分で予鈴 2 回、15 分で予鈴 3 回鳴らします。
7. 交通のご案内
   会場：大阪大学吹田キャンパス内
   大阪大学微生物病研究所
   融合型生命科学総合研究棟 1 階　谷口記念講堂
   住所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-1
   電話：06-6879-4259
   URL：http://vibrio50.biken.osaka-u.ac.jp

   アクセス
   ①阪急電車千里線　北千里駅下車東へ徒歩　約 12 分
   ②大阪モノレール　彩都線 阪大病院前駅下車
   西へ徒歩 約 20 分
   詳細なアクセスにつきましては下記をご参照ください。
   http://www.biken.osaka-u.ac.jp/access.html

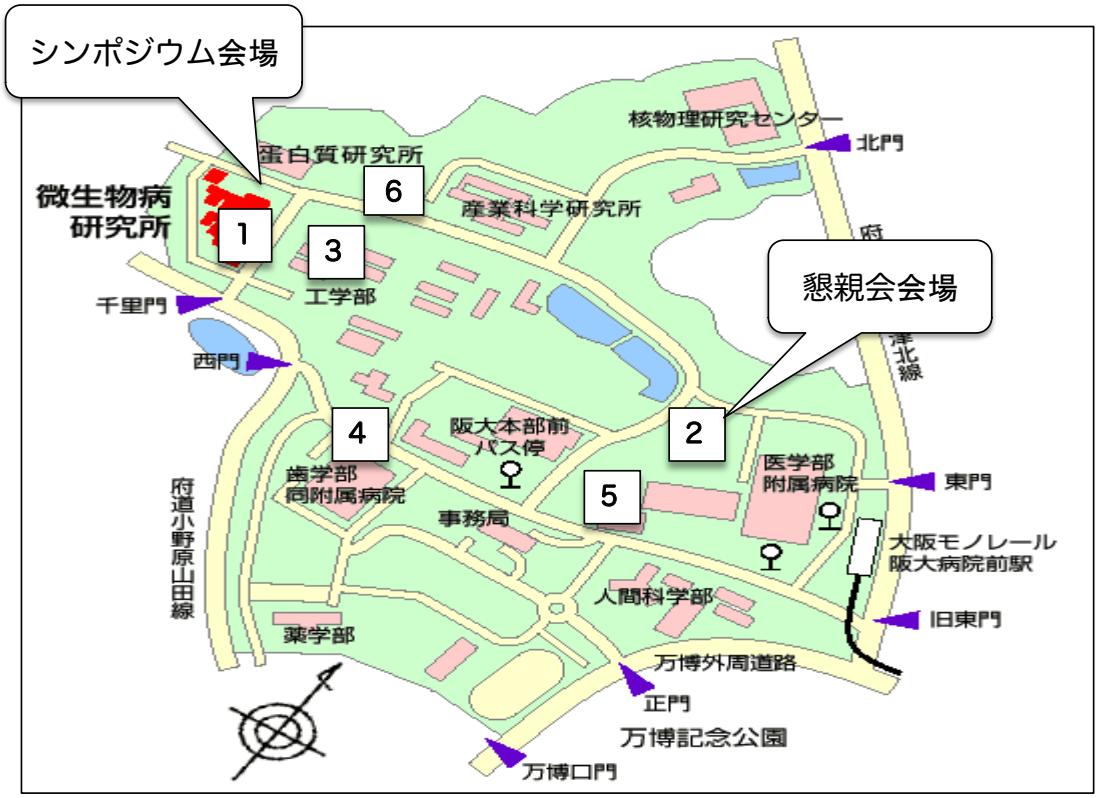
アクセスマップ



電車
阪急電車千里線　　**北千里駅**　　東へ徒歩 約１２分
大阪モノレール　　**阪大病院前駅**　　西へ徒歩 約２０分

バス
阪急バス
千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」 **『阪大本部前』**バス停下車徒歩約１２分
または、千里中央発「小野原東・富士火災」方面行 **『阪大口』**バス停下車徒歩５分

大阪大学吹田キャンパス内 ランチマップ



1	微生物病研究所 最先端感染症研究棟１Ｆ	Kitchen BISYOKU セブンイレブン
2	銀杏会館２Ｆ	レストラン　ミネルバ （懇親会会場）
3	GSEコモン･イースト棟 （U1 E棟）　１５Ｆ	カフェレストラン　ラ･シェーナ
4	歯学部付属病院１Ｆ	カフェ･ド･クリエ
5	本部前福利会館１Ｆ ２Ｆ	ひだまり 鯨屋
6	職員会館	さわらび

第 50 回　腸炎ビブリオシンポジウム　プログラム

第 1 日　10 月 20 日（木）

11:30～12:30　　腸炎ビブリオシンポジウム運営委員会（運営委員のみ参加）

13:00～13:05　　開会の挨拶

大阪大学微生物病研究所　細菌感染分野　飯田哲也

【一般演題】

13:05～13:50　　座長　　中口義次（石川県立大学　生物資源環境学部）

1. 水産食品における病原性腸炎ビブリオ汚染の迅速検査法の開発

   ○坂田淳子[1)]、米北太郎[2)]、川津健太郎[1)]

   [1)] 大阪府立公衆衛生研究所、[2)] 日本ハム株式会社中央研究所

2. Clarification by advanced analytical technologies of clinical significance of detecting *tdh*$^+$and/or *trh*$^+$strains of *Vibrio parahaemolyticcus* in seafood

   Ashrafazzaman Chowdhury, Kamruzzaman Muhammad, Phuangthip Bhoopong, Escalante Maldonado, Oscar Roberto, Kayali Ahmed Yaman, and ○Mitsuaki Nishibuchi

   Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

3. Development of a new IMS-MPN-LAMP-based detection method for enterohemorrhagic *Escherichia coli* in beef and its application on a global scale

   ○Ahmad Yaman Kayali[1)], Takeki Kai[2)], Oscar R. Escalante-Maldonado[3)], Aziz A. Djamal[4)], Mitsuaki Nishibuchi[1)]

   Center for Southeast Asian Studies[1)] and Graduate School of Asian and African Study[2)] Kyoto University; Nacional Center of Public Health, National Institute of Health, Rima, Peru[3)]; Faculty of Medicine, Andalas University, Padang, West Smatra, Indonesia[4)]

13:50～14:35　　座長：澤辺智雄（北海道大学大学院　水産科学研究院）

4. Development of multiple-locus variable number tandem repeat analysis (MLVA) for *Vibrio parahaemolyticus* O1:KUT

   ○ Sutima Preeprem, Pimonsri Mittraparp-arthorn, Mitsuaki Nishibuchi, Varaporn Vuddhakul

   Food Safety and Healthy Research Unit and Department of Microbiology,

Faculty of Science, Prince of Songkla University, Hat Yai, Songkhla, Thailand

5. インド・コルカタにおけるコレラ流行株の特徴と変化

○今村大輔[1)]、Avijit Sarkar[2)]、Dhrubajyoti Nag[2)]、Hemanta Koley[2)]、森田昌知[3)]、大西真[3)]、水野環[4)]、三好伸一[4)]、篠田純男[1)]

[1)]岡山大学インド感染症共同研究センター、[2)]National Institute of Cholera, Enteric Diseases、[3)]国立感染症研究所細菌第一部、[4)]岡山大学医歯薬学総合研究科

6. *Vibrio cholerae* は遺伝子座 MS6_A0927 の遺伝子構成により 2 系統に分岐している

○岡田 和久

大阪大学微生物病研究所 日タイ感染症共同研究センター

14:35～14:50　　休憩

14:50～15:50　　座長：工藤由起子（国立医薬品食品衛生研究所　衛生微生物部）

7. ビブリオ科に属する新しい属の提唱

A.K.M. Rohul Amin[1)]、田仲真実[1)]、Gao Feng[1)]、Nurhidayu Al-saari[1)]、美野さやか[1)]、澤辺桃子[2)]、○澤辺智雄[1)]

[1)]北大院水、[2)]函館短大食物

8. ダッカ及びコルカタで分離されたコレラ菌流行株のゲノム疫学解析

○森田昌知[1)]、荒川英二[1)]、泉谷秀昌[1)]、M. Alam[2)]、今村大輔[3)]、篠田純男[3)]、大西真[1)]

[1)]国立感染症研究所　細菌第一部、[2)]バングラデシュ下痢性疾患国際研究センター、[3)]岡山大学インド感染症共同センター

9. カンピロバクター食中毒の発生頻度は養鶏場ブロイラーの保菌率と有意に相関する

Islam Ibrahim Sabike[1,3)]、上村涼子[2,3)]、桐野有美[2)]、目堅博久[2)]、関口　敏[2,3)]、Ayman Samir Farid[1)]、後藤義孝[2,3)]、堀井洋一郎[2,3)]、○山崎　渉[2,3)]

[1)]Benha 大学（エジプト）、宮崎大学[2)]産業動物防疫リサーチセンター　[3)]獣医学科

10. 寿司刺身を安全に食べるために：天然素材の食中毒菌に対する抗菌効果の探索

澤田恵実[1)]、西渕光昭[2)]、○中口義次[1,2)]

[1)]石川県大・生資環・食品科学・食品管理、[2)]京大・東南アジア研

15:50～16:05　　休憩

【特別講演】

司会：飯田　哲也（大阪大学微生物病研究所　細菌感染分野）

16:05～17:05　「*Pasteurella parahaemolytica*、病原性好塩菌、
Vibrio parahaemolyticus、腸炎ビブリオ
―昭和 25 年から昭和 49 年まで」
公益財団法人野口英世記念会　副理事長　竹田　美文　先生

17:05～17:20　事務局からの報告

18:00～　懇親会（銀杏会館２F「レストラン　ミネルバ」）

第２日　10 月 21 日（金）

【教育講演】

司会：山崎　伸二（大阪府立大学大学院　生命環境科学研究科）

9:30～10:30　「腸炎ビブリオ食中毒―過去 40 年を振り返る―」
東京医科大学微生物学分野　甲斐　明美　先生

10:30～10:45　休憩

【一般演題】

10:45～11:30　座長　　島本　整（広島大学大学院　生物圏科学研究科）

11. 腸炎ビブリオの Na+耐性機構に関わる遺伝子の同定
○春木　裕里恵[1)]、三好　伸一[1)]、黒田　照夫[1,2)]
[1)] 岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・衛生微生物化学分野、[2)] 広島大院・医歯薬保健・微生物医薬品開発学

12. 腸炎ビブリオにおける環境に応じたタンパク質分泌促進装置の使い分けと病原性との関わり
○石井英治[1)]、児玉年央[2)]、松田重輝[2)]、秋山芳展[1)]、飯田哲也[2)]、森博幸[1)]
[1)]京大・ウイ・再生研、[2)]阪大・微研･細菌感染

13. Serotype switching and emergence of multidrug resistance in *V. cholerae* during subsequent cholera outbreaks in cholera endemic zones of Kenya
Sharda Prasad Awasthi[1)], Suleiman M. Saidi[1,2)], Nityananda Chowdhury[1)],

Masahiro Asakura[1)], Atsushi Hinenoya[1)], Yoshio Iijima[3)] and Shinji Yamasaki[1)]

[1)]Graduate School of Life & Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Osaka, Japan. [2)]Medical Sciences Department, Technical University of Mombasa, Mombasa, Kenya. [3)]Kobe Institute of Health, Kobe Japan

11:30～12:30　　座長　　黒田照夫 （広島大学大学院　医歯薬保健学研究院）

14. 難培養状態のコレラ菌が培養可能状態に復帰する条件の検討

島本　敏, ○島本　整

広島大学 大学院生物圏科学研究科 食品衛生学

15. *Aeromonas sobria* の上皮バリア破壊における菌体外プロテアーゼの役割

○小林 秀丈[1)]、高橋 栄造[2)]、岡本 敬の介[3)]、山中 浩泰[1)]

[1)]広島国際大学 薬学部 分子微生物科学教室、[2)]日本薬科大学 薬学部　生命分子薬学分野、[3)]岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科　薬学系

16. 創傷感染における *V. vulnificus* の自然免疫回避機構の解明

○山﨑浩平[1)]、柏本孝茂[1)]、門武宏[1)]、明田幸宏[2)]、吉岡一機[3)]、児玉年央[4)]、上野俊治[1)]

[1)]北里大学 獣医学部 獣医公衆衛生学、[2)]大阪大学 医学部附属病院 感染制御部 、[3)]北里大学 獣医学部 獣医解剖学、[4)] 大阪大学 微生物病研究所 細菌感染分野

17. 腸炎ビブリオの鉄制限下における T3SS2 を介する病原性発揮について

○田邊知孝、山本重雄、舟橋達也

松山大学薬学部衛生化学研究室

12:30～　　閉会の挨拶

大阪大学微生物病研究所　細菌感染分野　飯田哲也